

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血清）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血清）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

扁平上皮癌関連抗原測定試薬「エクルーシス試薬 SCC」の基礎的性能評価

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院検査部

【研究責任者】 谷口 裕美（検査部 主任臨床検査技師）

【研究の目的】

現在通常診療で使用している検査試薬と比較して同等以上の性能を有する検査試薬を探索することは、当施設の診療の向上のために重要な行為です。その遂行のためには臨床検体を用いた評価検討が必須であり、その結果を学会等で発表することは、施設間の情報共有のために意義があると考えられます。

そこで、本研究では臨床検体（血清）を用いて扁平上皮癌関連抗原測定試薬である被験試薬「エクルーシス試薬 SCC」の基礎的性能を評価します。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2017年4月から2017年8月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち SCC 抗原の検査を実施された 20 歳以上患者さん

（利用するカルテ情報）

年齢、性別、SCC 値

※追加解析の必要な症例：血清クレアチニン値、ALT 値、CRP 値、CEA 値、シフラ値、確定診断名

（利用する試料）

通常の診療で使用した後に残った試料（血清）

【共同研究について】

この研究は、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、電子ファイルもしくは紙によってロシュ・ダイアグノスティックス株式会社に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の試料・情報は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院

検査部 副臨床検査技師長 高須賀 康宣

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師 谷口 裕美

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5598